

## 慶應義塾大学「医学・医療の学際的修学、半学半教」

### ●育成したい人材像

- ・ 高い学習意欲を有する。
- ・ 国際性を有する。
- ・ 高い学習能力を有する。
- ・ 医学・医療、あるいはその周辺分野を含めて社会貢献を志している。
- ・ 研究の倫理および社会通念上の道徳を有する。
- ・ 大学卒業程度の知識および研究技術を有する。
- ・ 外国語での研究発表が可能である。
- ・ 事象に対して科学的理解と社会的理解を均衡に育むことができる。

### ●背景（問題意識）

#### 医学・医療を中心とした学問横断的な国際教育プログラム

- ・ 我が国は2015年に65歳以上の人口が25%を超えて超高齢化社会へ突入し、2035年には33.4%と3人に1人が高齢者となる。これに伴い、国民医療費は2015年度には41.5兆円となり、2025年度には60兆円を超す見込みである（厚生労働省）。
- ・ 医療機器の貿易赤字は8,000億円、医薬品は4兆円に上り（2015年度）、今後も増加する。
- ・ 医学・医療分野における能力と意欲に溢れる少数の研究者による理論的・技術的ブレークスルーが求められており、その育成が喫緊の課題である。

### ●企画の主な特徴

- 研究の基礎技術及び倫理の取得
- 英語能力の向上
- 個人研究の分野
- 国際的な共同研究

### ●企画の主体組織

慶應義塾大学医学部、理工学部、薬学部

### ●連携機関

神奈川県教育委員会、東京都教育委員会

### ●企画の最終目標

グローバル化する医学・医療分野で世界を先導する医学者および周辺技術の研究者・開発者の育成を目指す。

